

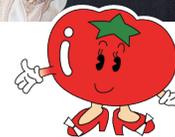
文京区議会議員 品田ひでこ



【品田ひでこプロフィール】東京生まれ。文京区立柳町小・第五中学校卒業。都立向丘高校卒業。駒澤短期大学卒業。明治大学公共政策大学院修士課程（公共政策学）修了。平成3年より区議会議員、現在は文教委員会委員長。キャリアコンサルタント（CDA認定）コーチングコーチ（CTP認定）、地域では少年サッカークラブ主宰、町会役員など。

文京区議会 11月定例議会報告

「おかしい！」と訴え、 「こうしてみてもは？」と政策提案



品田ひでこのイメージキャラクターです

▶11月8日～12月1日の定例区議会が終了しました。物価高騰、家計直撃、経済的に厳しさを増す子育て世帯や高齢者世帯への生活支援を区に対して強く求めました。なお、11月11日に会派を代表して本会議一般質問に立ちました。（ダイジェスト版は裏面）



教育・子育て

現状や区民の声

- ➔保育園は入れたが、1年生になったら「えっ！育成室に入れない」
- ➔保育園が増えるのは嬉しいが「保育の質」大丈夫？
- ➔乳幼児が「遊べる場所」「一時保育」を増やして！
- ➔次々と値上げ！食費も教育費も負担が大変！



主張 教育や子育ては途切れない支援を！

- ① 育成室の待機児童数は、令和4年4月37人、「子育て支援計画」の目標は令和5・6年度で47室です。新規育成室の増設を加速させて目標達成で待機児童「ゼロ」に。
- ② 「保育の質」の確保をしつつ新規園も作り続けてほしい。年度途中の入園も可能に。
- ③ 「地域の子育て拠点」や「子どもの遊び場」を増やして頂きたい。
- ④ 物価高騰で家計直撃！子育て世帯への支援が必須！さらに「小中学校の給食完全無償化」を強く訴える。

成果

- ◇ 育成室 令和5年4月1日新規開設予定
 - ① 茗荷谷育成室（中央大茗荷谷キャンパス内）
 - ② 小石川育成室（小石川1丁目再開発ビル内）
 - ③ 林町育成室（千石二丁目）
- ◇ 保育園へは巡回指導により保育の質を向上。
新規園：ソラスト茗荷谷保育園（定員100人）
- ◇ 地域子育て支援拠点「おひさま0・1・2」が音羽通りに12月新規開設。来年4月に中大茗荷谷キャンパス内にキッズルーム（一時保育）新規開設。



福祉・防災・暮らし

現状や区民の声

- ➔特別養護老人ホームの待機者は370人（10月現在）。「え～！仕事を辞めなくちゃ」介護離職が増える！
- ➔首都直下型地震の備えは？避難所は大丈夫かな？
- ➔障がい者や車椅子の方が移動しやすいバリアフリーの街にして。

主張 安心で安全な街をつくり続けます！

- ① まだまだ足りない高齢者施設、病院や老人保健施設はすぐに退所を迫られます。特別養護老人ホームの増設計画を急ぎ早期に新規開設して頂きたい。
- ② マンションが多いので集合住宅用の防災用品助成や訓練補助を充実してほしい。
- ③ B-ぐる第4路線（大塚・千石・白山）の計画と運行を早期に実現すべきと主張しています。
- ④ 後樂園駅からシビックセンターまでペDESTリアンデッキで繋ぐこと。また区役所から区民センターまで地下コンコースで車イスでも移動できるようにと主張しています。

成果

- ◇ 特別養護老人ホームは、「小石川ヒルサイドテラス」を近年新設され、さらに小日向2丁目の国有地を定期借地して今後建設予定です。
- ◇ 「防災訓練・備品購入費用の助成」「エレベーター閉じ込め対策費用の助成」等。中高層マンション防災対策のメニューを増やしています。ご活用ください。
- ◇ B-ぐる第3路線（本郷・湯島ルート）は昨年運行を開始しましたが、第4路線はオンデマンド交通の実証実験中です。これからもバリアフリーの街を進めます。

<品田ひでこが主張していること> ①「ボールが使える子どもの遊び場」を増やす。②巻石通りの無電柱化は、工事の短縮で早期に実現を強く要望。③障がい者のグループホームが新規に整備されていない。「槐（えんじゅ）の会」のバリアフリー化と早急に建替え計画をすべき。④「エシカル消費」の普及啓発を進めてエコな生活習慣を。





本会議一般質問 (11月11日)

品田ひでこは、区民の皆さんからいただいたご要望や暮らしの声を区議会で訴え区政に反映させます。

1 「子どもの自習室」を

図書館以外の子どもが自主的に勉強できる自習スペースを新設していただきたい。



【区長】 来年4月に開設する新たな大塚地域活動センターにおいて、施設のオープンスペースを中高生の学習支援の場として活用を検討しております。

2 「高齢者・年金世帯への生活支援」

「子ども応援臨時支援金」区独自の支援を決めました。現下の生活困窮は子どものいる世帯だけでなく、働けない高齢者世帯も同じです。特に年金暮らしの高齢者世帯への支援を早期に講じるべき。【区長】 75歳以上の世帯主及び全ての世帯の住民税均等割のみ課税世帯に1世帯当り3万円を支給します。

3 「文の京の博士ちゃん」

興味関心を持った研究心旺盛な子どもの研究支援や発表の場を作りましょう。



【教育長】 他の自治体の事例も参考にして研究します。

4 「青少年プラザb-lab小石川」の創設

移転する大塚地域活動センター跡地に中高生が自主運営できる小石川地域に今は無い「青少年プラザb-lab」を創設して地域偏在を解消すべきです。

5 「無痛MRI乳がん検診」

今や9人に1人が乳がんにかかっています。日本は、がん検診率が先進国に比べて低い。

①「無痛MRI乳がん検診」が実施できる医療機関を作って頂きたい。②有料の検診料金(平均2万2千円)の補助制度を作って頂きたい。



成澤区長に令和5年度予算要望書提出(8月10日)



加藤教育長に教育改革を提案(8月10日)

その他の質疑

- ◆小中学校の学校給食の完全無償化を要望しました。
- ◆保育園の待機児童対策が一定成果を上げた今こそ、今後は障がい児や医療的ケア児の入所受入れ拡大すべきです。
- ◆区内事業者やお店の経済対策を来年度も拡大すべきです。
- ◆「カーボンニュートラル」宣言した文京区、来年度も新たな環境事業を展開していただきたい。

品田ひでこ いきいき活動報告

区内で開催される区の行事や地域のイベントにも積極的に参加やお手伝いさせていただいています。



5月13日 文教委員会 区内学校視察

- タブレットを使った授業の様子を視察(茗台中学校・指ヶ谷小学校)



文教委員会 委員会視察

- 広島県教育支援センターの「個別最適な学び」の取組みと広島県「子供の予防的支援構築事業」について調査し学びました。



7月13~14日



春・秋の交通安全運動



9月21日

交通安全協議会委員です。

2021年12月



- 品田提案で東京2020大会オリパラ記念として、教育の森公園にアスリートと子供たちの手でオリーブが植樹されました。



10月22日

ジェンダー平等を推進します。



11月16日

介護補助器具の体験

ご意見・ご要望をお寄せ下さい

✉ h-shinada@nifty.com

連絡先

品田ひでこ 事務所

〒112-0003 文京区春日2-18-7-803
TEL・FAX 03-3816-2982



www.shinada.ne.jp

品田ひでこ

